

日向東臼杵南部

広域連合だより

構成団体…日向市、門川町、東郷町、南郷村、西郷村、北郷村、諸塚村、椎葉村

【第7号】

平成16年3月発行

日向東臼杵南部広域連合

〒883-0034

日向市大字富高2192

TEL (0982) 53-3401

FAX (0982) 52-7889



新しい東郷霊苑の完成予想図（右側が火葬棟、左側が待合棟）

完成予定は、平成17年3月下旬
東郷霊苑（火葬場）の建て替え工事が始まりました。

大切な人との別れの場となる火葬場も、現代社会になくはならない大切な公共施設のひとつ。東郷町山陰にある圏域唯一の火葬場「東郷霊苑」は、昭和53年の建設以来、人生の終焉の場という大切な役割を担い続けています。しかし、築後25年を経過し、老朽化や火葬能力の低下が著しく、火葬場の建て替えは圏域の大きな課題となっていました。

そこで、圏域8市町村では、平成13年4月に広域連合を組織して、霊苑の建て替え事業を開始。周辺地域の皆様への説明会をはじめ、造成工事や地質調査、議会への手続などの準備を進め、本年2月に本体工事に着手しました。

火葬時間は、これまでの半分に

建設地は現施設の東隣で、建物の延床面積は1,656平方メートル。鉄筋コンクリート一部2階建ての「火葬棟」と木造平屋建ての「待合棟」で構成する全館バリアフリーの構造で、総工費は約6億7千万円です。

火葬棟は、葬送の儀式が厳粛かつスムーズに行えるゆとりある間取りで、最新の火葬炉を導入。これまで点火から収骨まで約三時間かかっていたものが、一時間半まで短縮できる見込みです。また、2階には排ガスを適正に処理する最新機器を備え、周辺環境にも十分配慮しています。

一方、待合棟は、圏域の特産物である耳川水系の木材をふんだんに使い、ロビーのほかに3つの個室を完備。木の温もりを感じるゆつたりとした空間で、心静かに収骨までの時間を過ごすことができます。

工事に対するご理解とご協力を

建物の完成予定は、来年3月下旬を予定しています。それまでの間は、駐車場不足や工事車両の往来、騒音など、利用者をはじめ周辺の皆様にも大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



建て替えが始まった東郷霊苑（右側が現施設）

不燃ごみの適正処理を目指す7町村の広域最終処分場計画
生活環境影響調査結果と基本計画方針がまとまりました。

広域連合では、圏域7町村（門川町、東郷町、南郷村、西郷村、北郷村、諸塚村、椎葉村）の不燃ご

みを適正に処理するために、「管理型最終処分場」の建設事業を進めています。これは、平成12年度までに7町村が進めていた計画を、広域連合が継承したもの。平成14年12月からは事前調査として、建設予定地である門川町栄ヶ丘周辺の生活環境影響調査や、施設基本計画の策定を進めていました。

今回その結果などがまとまりました。生活環境影響調査では特に問題はないものの、基本計画方針では、今後検討を必要とする新たな課題も出てきました。

屋根付き処分場の選択

ここ数年、「被覆型」と呼ばれる屋根付き最終処分場が注目を浴びています。これは、埋立地そのものが外から見えず、埋立物の飛散防止や天候に左右されない安定した管理ができる利点があり、これまでのオープン型に比べ水処理施設が小さくてすむのも特徴。一見、屋根が付くことで膨大な費用がかかりそうですが、その分、水処理施設が小さいため、地形や規模によってはオープン型より経済性が高く、県内でも高崎町や国富町が被覆型処分場を建設中です。今回の計画方針では、7町村の広域最終処分場も「被覆型の方が有利」とまとめられています。



被覆型最終処分場の例(長野県山形村)



埋立地内部のようす



オープン型最終処分場の例(日向市)

用地の不足という課題

今回の計画方針では、埋立期間を15年間として、埋立地容量を6万9千㎡と想定しています。一方、最終処分場には埋立地だけでなく、きれいな水を放流するための水処理施設が必要であり、国は平成12年末に最終処分場の技術基準を強化した「性能指針」を定めました。

こうした状況や地質調査などをもとに必要な施設の配置を行ったところ、下記のイメージ図が出来上がりました。しかし、技術上どうしても雨水調整池を現在の予定地内に配置できず、用地の不足が生じることが判明。もともと、建設予定地までの取り付け道路用地は未買収であり、当初の見込みより広めに確保するなど、計画の見直しが必要となってきました。



7町村の広域最終処分場のイメージ(被覆型の場合)

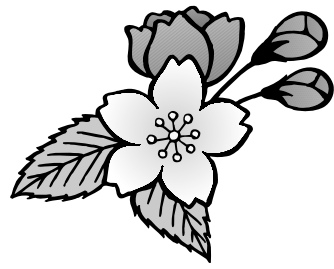
**結果を踏まえて
検討を重ねます。**

今回、一連の調査結果や方針がまとまりましたが、用地の不足という新たな課題も出てきました。圏域の共通課題である最終処分場の確保。無くてはならない施設ですが、合併問題や財政事情など、事業を取り巻く環境も目まぐるしく変わっています。今後は、この結果を踏まえて、検討すべき課題の解決や事業全体の方向性について、7町村間で協議することとなります。

調査書を公表します。

今回の結果がまとめられた調査書は、3月下旬から7町村役場の環境担当課において自由にご覧いただけます。ご意見などがありましたら、広域連合（業務第1係）までお寄せください。

※この公表は、条例に基づいた「縦覧」とは違います。



生活環境影響調査結果の主な内容

生活環境影響調査とは、処分場を建設した場合、周辺地域にどれだけの影響を及ぼすかを事前に把握して、必要な対策を検討するために調査・分析するものです。調査では、予定地周辺の20箇所ですべての水質や大気などの季節ごとのデータを集め、「施設基本計画方針」に従って建設した場合を仮定して必要な環境保全措置や影響を予測。いずれも環境への影響は軽微であると評価しています。

種類	現地調査の結果	環境保全措置と予測・評価
大気質	<ul style="list-style-type: none"> すべて環境基準を満たしており、問題は見られなかった。 NO₂ : 0.001~0.036ppm (環境基準0.06) SO₂ : 0.001~0.026ppm (// 0.06) SPM : 0.000~0.114ppm (// 0.2) CO : 0.010~1.270ppm (// 10) 交通量 (町道小園栄ヶ丘線) 約2000~3000台/日、平均約83~125台/時 最大時313台/時 (17時台) 	<ul style="list-style-type: none"> 造成工事の際に、散水施工、表土転圧、切盛土法面への早期保護工を実施する。 土砂運搬車の公道通行時は、シートカバー等により粉じんの発生を抑える。 リサイクルを進めて埋立量を減らし、処分場への搬入車両を最小限にする。 工事車両・ごみ搬入車両の増加予測数も少なく、大気質への影響は軽微であると考えられる。
水質	<ul style="list-style-type: none"> PH、SS、ダイオキシン類は、夏冬とも環境基準を満たしていた。 大腸菌群数は夏が高かった。生活排水・田畑への施肥の影響と考えられる。 生活排水、田畑への施肥の影響などにより、BODや大腸菌群数が環境基準値を超えている地点も見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立地に屋根を設けることで雨水の流入を防止し、浸出水量の発生を最小限にする。 処理水は、排水基準値同等もしくはそれ以上に厳しい自主基準を満たす水質で放流する。 モニタリング調査を行うことで、リスク管理する。 予測放流量は1m³/時と少なく影響濃度も小さいことなどから、水質への影響は軽微であると考えられる。
騒音振動	<ul style="list-style-type: none"> 体に感じる振動値55dBを大きく下回るなど、特に問題は見られなかった。 環境騒音 (昼間) 予定地直近民家付近 34~69dB 予定地南西側民家付近 30~68dB ゲートボール場横 39~68dB 交通騒音 (昼間、町道小園栄ヶ丘線) 冬季59~71dB 夏季56~68dB 環境振動 (昼間) いずれも30dB未満 交通振動 最大32dB 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立地に屋根を設け、浸出水処理施設の機器類は全て屋内に納める。周辺に植樹する。 早朝や夜間、休日は埋立作業をしない。 リサイクルを進めて埋立量を減らし、処分場への搬入車両を最小限にする。 埋立地を屋根で覆うことによる遮音効果も高く、予測増加騒音が1dB、振動もほぼ変わらないと予測されることなどから環境への影響は軽微であると考えられる。
悪臭	<ul style="list-style-type: none"> 臭気指数は、31.6の規制値に対して、10未満である。 特定悪臭物質は、全ての項目で定量下限値未満であり、規制基準値を満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立地には生ごみや可燃ごみは搬入されないが、悪臭発生物質の混入を未然に防ぐために搬入監視を徹底する。 必要に応じた覆土施行と消臭剤の噴霧。 自然換気を常時、機械換気も適時行う。 埋立地に屋根を設けることで、環境への影響は軽微になると考えられる。

議会だより

一般質問の要旨

岩切 裕 議員（日向市選出）



問 合併問題とは別に、広域連合の事務事業拡大に対して構成団

体間で協議はしているか。

答 8市町村長と日向保健所長で

協議し、リサイクルプラザの具現化について圏域が一体となつて取り組むことにしている。それ以外は、特に進んだ話はしていないが、いろんな機会を通じて努力したい。

問 情報公開条例の制定や、資料

室の設置は考えていないか。

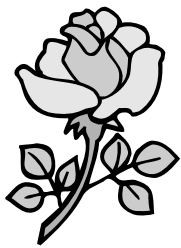
答 情報公開条例の必要性は十分に認識しており、先進例を参考にして制定作業を進めたい。資料室については、検討したい。

平成15年第3回議会 14年度決算を認定

昨年11月26日（水）、日向市役所において平成15年第3回議会（定例会）が開催されました。

提出された議案は、14年度決算の1件。歳入額は7億9,012万9千円、歳出額は7億6,885万4千円で、最終処分場事業の調査費用など2,127万5千円を15年度に繰り越しました。

広域連合長が内容を説明した後、監査委員が決算審査の結果を述べ、「計数は正確で、執行は概ね適正である。」と報告。審議では、事業の評価方法、公債費率、火葬場の運営管理方法などの質問が出され、採決の結果、全員一致で認定されました。



問 最終処分場建設問題の今後の方針を示せ。事業の遅れによる影響は生じていないのか。

答 7町村にとつて、最終処分場の確保は喫緊の課題である。現在、所要の調査を実施しており、その結果を受けて今後の方針をさらに検討したい。事業の遅れに対しては、7町村ともしつかり対応されているようである。

審議した議案等とその結果（○議案、●陳情）

〔平成15年第3回議会〕

○平成14年度日向東臼杵南部広域連合歳入歳出決算・・・認定 全員一致
●一般廃棄物最終処分場の予定立地の再考について・・・継続審査 全員一致

〔平成16年第1回議会〕

○工事請負契約の締結について・・・可決 全員一致

〔平成16年第2回議会〕

○監査委員の選任について・・・同意 全員一致
○平成15年度日向東臼杵南部広域連合補正予算（第1号）・・・可決 全員一致
○平成16年度日向東臼杵南部広域連合予算・・・可決 全員一致
●一般廃棄物最終処分場の予定立地の再考について・・・継続審査 全員一致

平成16年第1回議会 東郷霊苑の 建築主体工事契約の締結

1月14日（水）、日向市役所で平成16年第1回議会（臨時会）が開催されました。

提出された議案は、東郷霊苑の建て替え工事に伴う建築主体工事の契約に関するもの。昨年12月下旬に行つた指名競争入札の結果、吉原・協栄建設共同企業体が3億6,750万円で落札したので、議会の議決を求めたものです。

審議では、指名の状況や火葬炉に関する質問が出され、採決の結果、全員一致で可決されました。

また当日は、議員全員による現地調査が行われました。東郷町山陰の東郷霊苑や日向市富高の日向市一般廃棄物最終処分場、門川町



東郷霊苑建設現場の現地調査（1月14日）

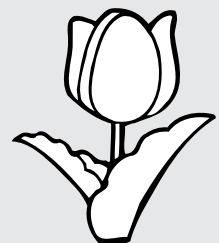
栄ヶ丘の広域最終処分場の建設予定地などを視察。現地では、係員の説明を受けながら事業の進捗や見通しなどについて質問が出されました。

広域連合議会議員名簿

（平成16年3月現在・議席順）

議長 甲斐 敏彦（日向市）
副議長 米良 昭平（門川町）
議員 新名 敏文（東郷町）

早田 卓男（北郷村）
那須 義雄（椎葉村）
甲斐 美義（椎葉村）
岩切 裕（日向市）
濱田 卓侯（南郷村）
黒木 優（日向市）
江並 孝（日向市）
朝倉 利文（門川町）
黒田 昭弘（北郷村）
田原 千春（東郷町）
黒木 正一（諸塚村）
黒木 勤己（西郷村）
片田 正人（日向市）
梅田 義輝（諸塚村）
黒木 慎男（西郷村）
松本 弘志（日向市）
鈴木 三郎（日向市）
寺原 速美（門川町）
小谷 信義（南郷村）



平成16年第2回議会
16年度当初予算を可決

3月5日(金)、日向市役所において平成16年第2回議会(定例会)が開催されました。

提出された議案は、監査委員の選任、15年度補正予算、16年度当初予算の3件。15年度補正予算では、火葬場関係の一連の契約事務が終了したことによる残額など、総額6,340万円9千円を減額しました。

16年度当初予算は、広域連合長である日向市長が3月末をもって任期満了を迎えることから、継続事業などを中心とした骨格予算で編成されました。主なものは、火葬場の建て替え工事に伴うものや清掃センターの運営管理費で、総額13億9,800万円となり、対前年度費33.5%の増加。2件の予算は、いずれも原案どおり可決されました。

また、監査委員の退職に伴う後任人事には、日向市財光寺の甲斐秀夫さんが、全員一致による選任同意を受けました。

陳情は引き続き継続審査に

当日、最終処分場建設予定地の見直しを求める陳情について、総務委員会が開催されました。

審査の結果、「生活環境影響調査結果が概ね示されたが、検討すべき新たな課題に対する構成団体の

の今後の協議や調査結果に対する詳細な審査が必要」と報告され、全員一致で引き続き閉会中の継続審査にしました。

一般質問の要旨

田原千春 議員(東郷町選出)

問 最終処分場事業に関する視察研修や説明会の計画は、事業に対する現在の考え方を示せ。

答 2月20日に田野町と高崎町への視察研修を行い、予定地周辺地区から19名の参加をいただいた。説明会は、調査結果報告書の完成後に行いたい。今後の事業方針は、解決すべき課題もあり7町村と十分に協議する。

問 東郷霊苑隣接地の杉は、倒木の危険性を理由に伐採の申し入れはできないか。

答 過去、倒木による事故は起こっていないが、個人所有の財産のため、検討を要する。

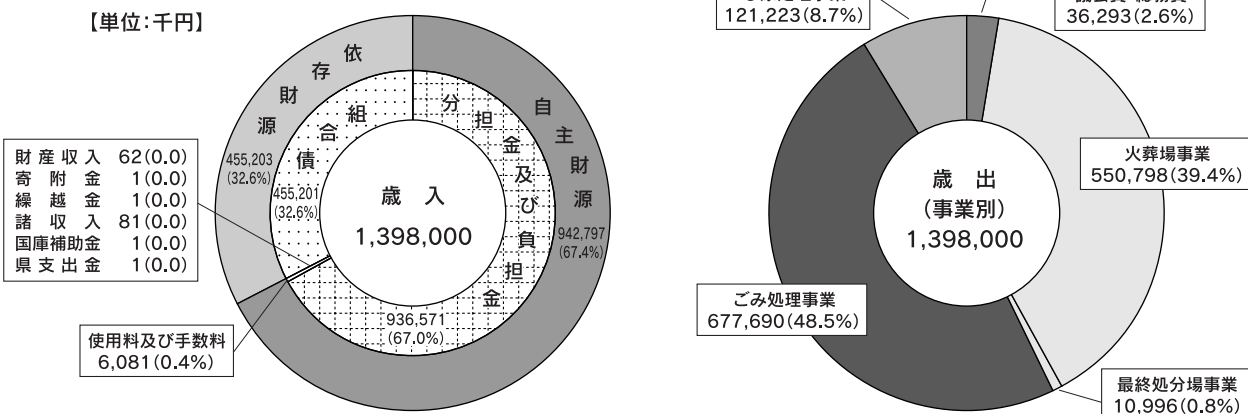


19名が参加した処分場視察研修(高崎町。2月20日)

16年度の当初予算(総額13億9,800万円)

広域連合は、市町村(構成団体)が共同して事務処理を行う「組合」です。そのための経費のほとんどは、構成団体が拠出する「分担金」で賄われています。16年度予算の8市町村の分担金は、約7億6千万円となりました。

【単位:千円】



市町村別・事業別分担金の内訳

	一般管理費	火葬場事業	最終処分場事業	ごみ処理事業	し尿処理事業	合計
日向市	19,317	49,558	0	307,659	92,334	468,868
門川町	6,179	17,865	4,860	103,251	0	132,155
東郷町	3,180	6,890	1,498	28,058	16,349	55,975
南郷村	2,103	3,369	898	22,643	0	29,013
西郷村	1,145	3,517	955	0	0	5,617
北郷村	2,091	3,063	782	22,418	0	28,354
諸塚村	2,158	3,197	833	23,970	0	30,158
椎葉村	1,043	3,074	1,168	0	0	5,285
合計	37,216	90,533	10,994	507,999	108,683	755,425

今回も基準値をクリア

清掃センター

ダイオキシン類測定結果

日向市富高の清掃センターは、広域のごみ処理施設として日向市、門川町、東郷町、南郷村、北郷村、諸塚村で出されたごみを焼却しています。こうした焼却施設は、法律でダイオキシン類の測定が義務付けられ、結果を都道府県知事に届けなければなりません。

このため、清掃センターでは昨年の8月と10月に専門機関による測定を行いました。

主な結果は以下のとおりで、いずれも基準値をクリアし、適正に運営管理されていることが実証されました。

循環型社会を支える
4つのR(アール)

Refuse (リフューズ・発生原因を絶つ)

Reduce (リデュース・減らす)

Reuse (リユース・繰り返し使う)

Recycle (リサイクル・資源に戻す)

15年度ダイオキシン類測定分析結果

物質名	単位	基準値	1号炉	2号炉	
ダイオキシン類	排ガス	ng-TEQ/m3N	5	0.081	0.075
	飛灰	ng-TEQ/g	3	1.2	1.5
	焼却灰	ng-TEQ/g	3	0.00045	0.00058
一酸化炭素	ppm	100	2	9	
ばいじん	g/m3N	0.15	0.005	0.001	
塩化水素	mg/m3N	700	76	210	

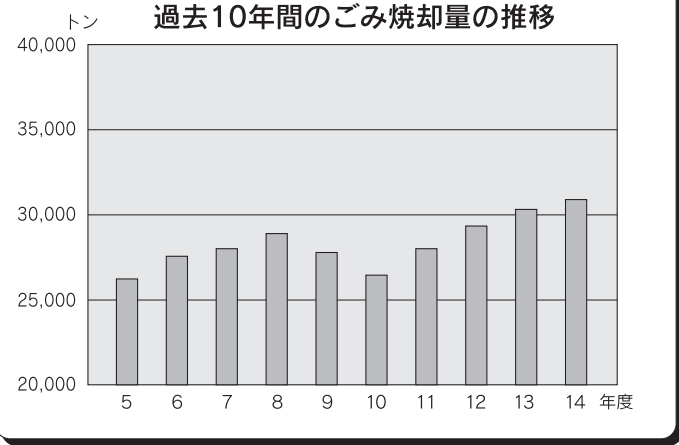


増え続けるごみの焼却量

右のグラフは、清掃センターで燃やしたごみの量の推移です。少しずつ増えていた焼却量も、9年度に日向市で透明袋化や分別収集が拡大されたことから、一度は減少傾向に。その後、12年度に3村の広域処理も始まりましたが、下の表のとおり6市町村とも少しずつ実績が増えてきているため、全体的に再び増加傾向に転じています。

平成14年度の決算において、清掃センターの運営に要した費用は約5億2千万円。ごみの量が増え続ければ、分担金を抛出している6市町村の財政負担も年々大きくなります。ごみの減量化は、いまや最も身近な社会問題のひとつ。ごみの分別とリサイクルに心がけ、みんなで住みよいまちを作りましょう。

過去10年間のごみ焼却量の推移



市町村別のごみ焼却量

	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
日向市	21,401	22,507	22,415	23,117	21,625	20,627	21,291	22,133	22,801	23,220
門川町	4,874	5,201	5,630	5,716	5,972	6,185	6,652	6,460	6,544	6,546
東郷町	282	260	305	321	383	391	414	520	628	666
南郷村								193	204	215
北郷村								158	201	222
諸塚村								294	322	335
合計	26,557	27,968	28,350	29,154	27,980	27,203	28,357	29,758	30,700	31,204

※南郷村、北郷村、諸塚村は、平成11年度まで村単独で可燃ごみを処理していました。